

「核兵器禁止条約」と「永世中立国へのチャレンジ」 室井 隆良

ふるたん技研レポート Vol10「日本百名山から世界百名山へ」の最終章「永世中立国へのチャレンジ –マッターホルンのあるスイスから学ぶ–」で、私は「新型コロナ時代はもしかすると文明の転換期になるかもしれない、今こそ日本は超大国との付き合いは控えめにし、周辺国と連携した新しい時代の永世中立国を目指すべきではないか、そんな時代を迎えているような気がする。」と書きました。

ホームページで読まれた方から感想など戴いたりしていましたが、相変わらずの巣籠り生活が続く中で伝えられたのが、「核兵器禁止条約」を50カ国が10月24日に批准し来年1月22日発効が決まったというニュースでした。国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」のフィン事務局長の記者会見や、広島市の出身でカナダ在住の被爆者サーロー節子さんの「この日が来るのを70年間待ち続けた」という記事が新聞紙面を賑わしていましたが、驚いたのはなんと！その後わずか二・三日で「核兵器禁止条約」の記事はマスコミからキレイに消えてしまったことでした。

唯一の被爆国でありながらアメリカの核の傘に頼り続けたい日本政府はオブザーバー参加すら表明出来ずにいます。「核兵器禁止条約」は日本が決して避けては通れない道、時間をかけても歩み続けなくてはならない道なはずです。マスメディアの未来も見えません。

核兵器禁止条約に署名した国一覧を調べてみました。2020年10月24日現在の署名国84カ国、★が批准国の50カ国です。

アルジェリア、アンゴラ、★アンティグア・バーブーダ、★オーストリア、★バングラデシュ、★ベリーズ、ベナン、★ボリビア、★ボツワナ、ブラジル、ブルネイ、カーボベルデ、★カンボジア、中央アフリカ共和国、チリ、コロンビア、コモロ、コンゴ、★クック諸島（※）、★コスタリカ、コートジボワール、★キューバ、コンゴ民主共和国、★ドミニカ、ドミニカ共和国、★エクアドル、★エルサルバドル、★フィジー、★ガンビア、ガーナ、グレナダ、グアテマラ、ギニアビサウ、★ガイアナ、★バチカン市国、★ホンジュラス、インドネシア、★アイルランド、★ジャマイカ、★カザフスタン、★キリバス、★ラオス、★レソト、リビア、★リヒテンシュタイン、マダガスカル、マラウイ、★マレーシア、★モルディブ、★マルタ、★メキシコ、モザンビーク、ミャンマ



◆宣言のみの国

カンボジア - 1992 年憲法により規定

モルドバ - 1994 年憲法により

リヒテンシュタイン - 1867 年から

コスタリカ - 1983 年非武装的中立に関する大統領宣言において表明

スイスが 1674 年から長い歴史を刻んでいる永世中立国宣言国ですが、未だに 10 カ国にも達しない状態です。「永世中立国宣言国」にも「核兵器禁止条約署名国」と同様に超大国と云われる国の名はありません。



「核兵器禁止条約」を 50 カ国が批准した 10 月 24 日から 2 カ月が過ぎようとしています。11 月 8 日には米大統領選バイデン候補勝利宣言。敗北を認めず法廷闘争に持ち込むなど抵抗を続けるトランプ。三権分立でなく三権分断！？…連日アメリカの報道が新聞紙面を占める中で、11 月 8 日のミャンマー総選挙はアウンサンスーチー政権の与党 NLD 勝利の記事が目立たぬように載っていました。

コロナの終息が見えない中で世界の分断が続く国際情勢を伝える最近の報道を見て、「超大国との付き合いを控えめにし、周辺国と連携した新しい時代の永世中立国へのチャレンジ」のことを改めて考え、その想いを一層強くしています。

「核兵器禁止条約」の署名が暫くは難しいのなら、**「新しい時代の連携と共生を目指した永世中立国活動」の方に取り組んでみませんか！** 先ずは一緒にチャレンジしてくれる仲間探し、核兵器禁止条約に署名した国の内、東南アジアなど身近な国々で活動している団体等への声掛けから始めましょう。